

最先端IT・エレクトロニクス総合展

CEATEC[®] JAPAN



NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルの携帯電話大手3社がそろって、米アップルのスマートフォン（スマホ）「iPhone（アイフォン）」を取り扱うようになつて約1年。9月19日に発売した最新の「iPhone 6」・「同6プラス」の販売も好調で、国内スマホ市場はアイフォーンを中心にまわっている。

収益重視、海外向け開拓

海外に目を向けても日本のスマホメーカーの状況は厳しい。主戦場となつた新興国では、低価格モデルを武器に中国メーカーが急速に存在感を高めている。ソニーは中国市場で自社の普及価格帯スマホの拡販を狙つたが失敗。15年3月期のスマホ販売台数の見

スマートフォン

通しは5月時点で5000万台としていたが、7月末に700万台減の4300万台に見直した。

ただ日本のスマホメーカーもあきらめていない。ターゲットを絞つた独自戦略で、海外市場の開拓を目指す動きが目立ってきた。シャープは米スプリングに新型スマホ「アークスクリスタル」を供給し

米市場に参入する。京セラは耐久性を高めたスマホ「トルク」・富士通はシニア向け「らくらくスマートフォン」を武器に市場をこじあける考

え。パナソニックはインド市場に絞って事業展開する。規模拡大より収益性を重視する（平井一夫ソニー社長）というのが日本のスマホ

カーナビゲーション



音響機器

ハイレゾ音源対応

14年はデジタル機器業界で新しい動きが顕在化した。その一つがハイレゾ音源対応のオーディオ関連機器だ。日本勢が付加価値の高い領域として注力している。パナソニックは高級音響機器ブランド「テクニクス」を4年ぶりに復活。ハイレゾ音源対応のオーディオを展開している。またソニーも同音源対応の携帯音楽プレーヤーを市場に投入し力を注ぐ。通信の高速化に伴い、質の高い音楽を取り込んで聴く市場が活性化しており、各社はシェアの獲得にまい進している。

www.ceatec.com

デジタル機器の最新動向

デジタル機器業界では新しい製品群が台頭しつつある。CDより高音質なハイレゾリューション（ハイレゾ）音源対応のオーディオ関連機器が相次いで市場に投入され、活況を呈している。薄型テレビではフルハイビジョン（フルHD）の4倍の解像度を持つ4Kテレビの市場が拡大。またスマートフォン市場ではメーカー各社がウェアラブル端末を相次いで投入し、普及が本格化し始めた。デジタル機器業界では引き続き海外勢が市場を占有しているものの、日本の家電メーカーも付加価値の高い製品で競争力を高め、巻き返しに向けて意欲をみせている。

薄型テレビ

4Kテレビ 新製品続々

薄型テレビ市場では4Kテレビの普及に向け、日本など個人向け市場に需要がある。4K対応のテレビが相次いで発売されている。パナソニックは9月25日、4Kテレビの新製品7機種を10月17日に発売すると発表。従来約2倍の高輝度液晶パネルを採用し、画質を高めて大画面に対応した。音声で操作する機能や、スマートフォンで録画した番組を見られる機能を搭載した。

また三菱電機は4Kテレビ2機種を10月30日に発売する。光源に赤色レーザーと新開発のシアン色の発光ダイオード（LED）を搭載。高精細で立体感のある映像を楽しめるという。一方、日本のリビングや居室になじむ小型サイズの4Kテレビも登場している。東芝は40型の4Kテレビを製品化し、50型超の既存のラインアップに追加した。小型サイズは4Kが持つ高精細な特徴を訴求し



パナソニックの4Kテレビは従来比約2倍の高輝度液晶パネルを採用

テレビを展示会で披露するなど、早くも勝負が始まっている。次世代製品のけん引役は引き続き海外勢が中心であり、巻き返しが必要だ。

ウェアラブル端末

「ポスト・スマホ」に期待



セイコーエプソンのメガネ型端末「モベリオ」を使った倉庫業務の実証実験

モベリオは腕時計型端末で、スマートフォンとして期待されるのが、身に着けて使うウェアラブル端末が集まる。メガネ型端末をめぐっては、まず業務用途で市場が立ち上がるのを見方がある。セイコーエプソンのメガネ型端末「モベリオ」を倉庫業務で活用するための実証実験を、トヨカネソノソリューションズ（東京都江東区）などと共同で昨秋実施した。またジェイアイエス

はセンサー機能を備え、着用者の疲労や眠気の状態を計測できる「JENSEI」を15年春に発売する。長距離ドライバーの安全運転支援などの活用を目指し、デンソー、慶応義塾大学と共同研究を進めている。

スマホと共存・差別化

急速に普及するスマートフォン（スマホ）との共存と差別化が、カーナビゲーション業界の大きなテーマだ。道案内だけでなく、ナビ機能に付随するサービスを提供も課題と。安全運転に寄与する、国内ではパイオニアが先行していたが、JVCケンウッドやパナソニックが参入。また米ガーミンも日本版HUDを投入するなど、競争が激化している。自動車の電子化が進み

インターネットにつながるようになった今、クラウドコンピューティングを活用した魅力的な情報サービスの提供も課題と。そこで各社はカーナビ対応機能の投入やスマホ連携機能の拡充、スマホメーカーとの協業といった共有策を進める。

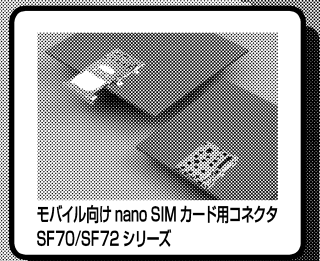
今後は新車販売の成長著しい新興国開拓が、新たな主戦場になる。スマホを投入するなど、競争が激化している。自動車の電子化が進み

ポケットの中から宇宙まで

私たちは「つなぐ技術」で未来への扉を開きます

Technology to Inspire Innovation

航空電子



モバイル向け nano SIM カード用コネクタ SF70/SF72 シリーズ



産業機器向けワンタッチロック取付方式 丸型防水コネクタJL10シリーズ



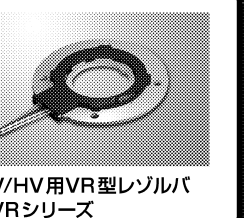
蓄電池向け 大電流コネクタDW シリーズ



ナビ/ディスプレイオーディオ用 静電タッチパネルTC230シリーズ



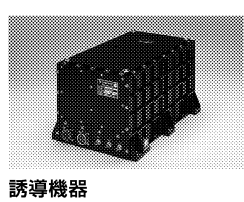
EV急速充電器用コネクタ KW11 シリーズ



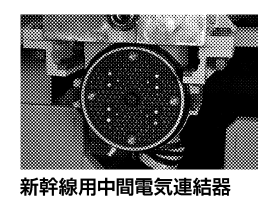
EV/HV用VR型レゾルバ JVR シリーズ



リングレーザジャイロ



誘導機器



新幹線用中間電気連結器

CEATEC JAPAN 2014 に出展
ホール5 ブース No.5K84